

【ごだい】

懐爺いわく、

「本物の忍者になるなら、精神と肉体の鍛練（たんれん）が必要」

そんなことは当たり前だとおもっていると、肉体の鍛練は頑張ればなんとかなるが、精神の鍛練は頑張ってもできるものではない。

どういう鍛練かと聞くと、

「相手の五欲を利用し、自然の五大を味方にせねばなりませぬ」

らしい。

五欲とは、食欲・色欲・物欲・風流欲・名誉欲。

五大とは、地・水・火・風・空。

ううむ、利用もできそうにないし、味方にできそうもない。

たしかに鍛練しても上手くやれそうにない。

なぜなら、ぼくには五欲がないのです。

五欲がない人間に、五欲を利用できそうにない。

なぜなら、ぼくは五大が好きではないのです。

好きではないものが、ぼくの味方をしてくれるわけがない。

ううむ、本物の忍者は諦めるか。

ううむ、諦められない。

懐爺はたぶん本物の忍者なのだろうから、懐爺の年齢になれば本物の忍者になれるかもしれません。

しかし大きな問題があります。

懐爺の歳まで生きられそうにないことです。

そう正直に告白したら、懐爺は、

「五欲五大を、誤欲誤大、とかんがえればよろしいでしょう」

と云う。

禅問答みたいで、かんがえられない。

そんなある日、それは村のいかさま占い師が、

「天中殺」

だと云っていた時期でしたが、村を大災害が襲いました。

地震で地は裂け、水が津浪となって押し寄せ、そこかしこで火事が起こり、台風が同時にきて、空は真っ黒になって雷がいくつも落っこちました。

このままではぼくの村は、滅茶苦茶（めちゃくちゃ）で全滅です。

こうなったら最後の手段。

誤大誤大誤大誤大誤大、とぼくは勝手にかんがえました。

するとどうでしょう。

地は貼り付き、津浪は引き、火事は消え、台風は去り、空は快晴になりました。
ぼくの村はなんとか最小限の被害で済んだのでした。